

感染状況・医療提供体制の分析(12月21日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (12月14日時点)	現在の数値 (12月21日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	16057人 (855.5人)	18878人 (1005.8人)	→
		60歳以上 (総数に占める割合)	2822人 (18%)	3282人 (17%)	→
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	5467人	6896人	→
		倉敷市保健所	3777人	4345人	→
		備前保健所	1237人	1459人	→
		備中保健所	2162人	2264人	→
		備北保健所	704人	661人	→
		真庭保健所	529人	441人	→
		美作保健所	1568人	2062人	→
		その他	613人	750人	→
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	316人 (53%)	391人 (65%)	→	医療提供体制コメント
	④宿泊療養者数	143人	173人	→	確保病床における入院割合は60%を超えた。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、救急搬送困難や手術制限など通常医療の提供が困難に。高齢者の感染者増加により、今後逼迫状態が更に悪化すると予想。
	⑤自宅療養者数	14574人	17805人	→	
	⑥重症者数	6人	11人	→	

感染状況コメント
レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要

新規陽性者は人口10万人当たり1006人と増加。クラスターも変わらず多発している。
全国的にも西日本で増加傾向が強く、これまでに最も高い感染レベルに近づきつつある。移動が多くなり、社会経済活動も活発化する時期となり、今後も陽性者増加が見込まれる。個人で行える感染対策を再強化し、高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動を。

医療提供体制コメント
レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる